

ふかばちがたどき 【深鉢形土器】



縄文時代早期（今から約7千年前）に最も多く使用されていた土器で、吉野遺跡で発見されたもの。口縁部が小波状を呈する中型の土器。土器内外に、横方向の軽い条痕文が施されている。縄文土器と言えば、縄の模様がついているが、この土器にはない。この特徴は、北海道東部で使用されていた古いタイプを意味している。同じ時期でも北海道南部で使用されていた土器は底部がとがっている。土鍋として煮炊き用に使われた。土器の下部は、加熱を受けもろくなっている。

編集後記

■表紙は、しらかば保育園運動会です。今年から未満児さんは親から離れて参加、最後までがんばった子、親を見つめ、ずつと泣いていた子（我子？）などなど。園児数は少なくなっていました。とても温かみのある運動会でした。（克）

■取材から帰り撮った写真を見るたび難しさを感じるのです。見て伝わる、表現できる写真を撮れるよう修業しなくてはと思うのです。（く）

■掲載された写真は、差し上げますので（本人または家族）お気軽にご連絡下さい。